LOOK

株主通信

第55期 報告書 2016.1.1 ▸ 2016.12.31

P7 ≫

積極的な新規事業開発

P9 ≫

既存事業の収益向上と
Eコマース事業の拡大

株式会社ルック

BRAND INFORMATION ブランドのご紹介

filage

フィラージュ

"女性の人生に寄りそう服"仕事やプライベート、ファッションにおいて、さまざまな経験をかさねながら美しく魅力をましていく女性に向けたスタイルを提案。

Vera Bradley

ヴェラ・ブラッドリー

全ての女性のライフシーンに向けたアメリカ発のライフスタイルブランド。

DENHAM

デンハム

2008年にアムステルダムで誕生したデンハムは、国際的にも名高いデニム職人ジェイソン・デンハムによって設立されました。「ディテールの中に見いだされる真実」「伝統を重んじ、しきたりを壊す」をコンセプトに掲げたプレミアムデニムがブランドの中心となります。

Repetto PARIS

レペット

1947年、ローズ レペットがバレエ用シューズをデザインしたことから始まったブランド。伝統的な技術を用いて手作りされた靴は、確かなクオリティと美しさを約束します。

SCAPA

スキャパ

ファッション都市アントワープのブランド。上質で上品、タイムレスなファッションを提案。シルエットとスタイリングにこだわりを持って発信するブランド。

roga

ロガ

今の気分・流行を程よく取り入れ、自分らしさを表現出来る女性に向けて発信するCONTEMPORARY-CASUAL。

KORET

コレット

自分自身のために時間を楽しむことができる、大人の女性をターゲットにしたコーディネートブランド。

marimekko

マリメッコ

インテリア、ファッション、バッグと幅広いラインナップを扱うフィンランドのライフスタイルブランド。

LAISSÉ PASSÉ

レッセ・パッセ

女性特有のかわいらしさを表現するヤングキャリア層向けのレディスブランド。

Début de Fiore

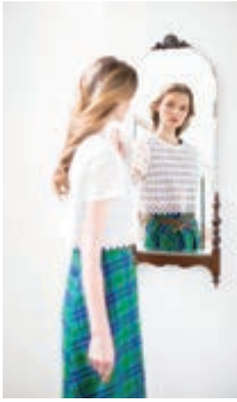
デビュー・ド・フィオレ

繊細さと可憐さを持ち合わせるレッセ・パッセのお姉さんブランド。

KEITH

キース

ブリティッシュトラディショナルを継承しながら進化を続けるキースは自分らしさを常に意識する女性の為のブランド。



HARYU

since 1986

ハリュ

カジュアルだがどこかに女性らしさを忍ばせたコーディネートを提案。

IL BISONTE

イル ビゾンテ

ワニー・ディ・フィリッポがデザインするイタリア・フィレンツェ発のバッグ&革製品のブランド。

IL BISONTE UOMO

イル ビゾンテ ウオモ

イル ビゾンテのメンズコレクション。

A.P.C.

アー・ペー・セー

本質的なエレガンスを追求した、ミニマルかつラディカルなモダン・フレンチスタイルを提案。

Alice and Olivia by Stacey Bendet

アリス アンド オリビア

デザイナーStacey Bendetのパーソナリティとスタイルが凝縮されたライフスタイル全般のブランド。

ルックグループは、「お客さま第一主義」のもと、新しいライフスタイルや価値の創造を通じて、
お客さまの満足を追求し、生活文化の向上に貢献します。

代表取締役社長 多田 和洋

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。
ここに、当社の第55期（2016年1月1日から2016年12月31日まで）における事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。
今後も、当社グループは「お客さま第一主義」のもと、持続的な成長と安定的な収益を実現し、更なる企業価値向上を図ってまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当期の事業環境と業績の概況について

当期の業績（連結）

売上高	426億24百万円（前年同期比 7.3%減）
営業利益	8億26百万円（前年同期比60.1%増）
経常利益	9億64百万円（前年同期比46.1%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	2億56百万円（前年同期比41.8%減）

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府や日銀の各種政策などにより、雇用・所得環境の改善がみられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、英国のEU離脱問題や米国新政権の政策運営に対する懸念など、海外経済の動向に関する不確実性もあり、不透明な状況が続きました。

当アパレル・ファッション業界におきましては、百貨店での衣料品販売の不振が続くなか、個人消費の節約志向が長期化していることや、消費スタイルの多様化に伴う消費マインドの変化などもあり、さらには高額品を中心としたインバウンド需要が減退するなど、全体としては厳しい環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは当連結会計年度を初年度とする3ヵ年中期経営計画に基づく三つの重点政策、「既存事業の収益向上」、「Eコマース事業の拡大」、「積極的な新規事業開発」を実行してまいりました。既存事業につきましては、オリジナルブランドにおいて、マーチャンダイジングの精度向上を図ったほかブランドの改廃を実行し、インポート主力ブランドにおいては、投資集中により新規出店を推し進めるなど、収益力向上に向けた事業の選択と集中を実行してまいりました。Eコマース事業につきましては、顧客データシステムを刷新するなど、Eコマース売上構成比10%の早期実現に向けた施策に取り組んでまいりました。新規事業につきましては、オランダのデニムブランド「デンハム」を展開するDENHAM GROUP B.V.社と合弁で株式会社デンハム・ジャパンを設立し、2016年4月1日より日本における「デンハム」の独占輸入販売およびライセンス生産・販売を開始いたしました。

その結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は426億2千4百万円（前年同期比7.3%減）、営業利益は8億2千6百万円（前年同期比60.1%増）、経常利益は9億6千4百万円（前年同期比46.1%増）となりましたが、経営の効率化を目的とした大阪支店の移転に伴う原状回復費用などにより、親会社株主に帰属する当期純利益は2億5千6百万円（前年同期比41.8%減）という結果で終了いたしました。

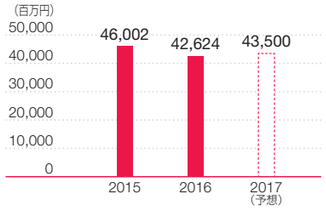
セグメント別の業績の概況について

「アパレル関連事業の概況」

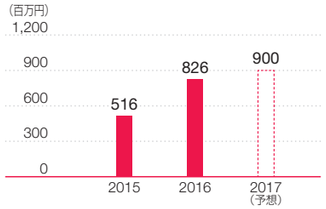
「日本」につきましては、当社が展開するブリティッシュスタイルブランド「キース」において、主力アイテムの企画精度の向上や商品運営を見直した結果、売上が好調に推移いたしました。イタリアのレザーブランド「イル ビゾンテ」において、財布やカードケースなどレザー小物の品揃えの強化や新規顧客の拡大により既存店舗の売上が大きく伸長いたしました。また、フランスのバレエシューズブランド「レペット」において、定番商品であるフラットシューズの売上が好調に推移した結果、売上が増加いたしました。Eコマース事業におきましては、店舗とオンラインストアとのお買い物ポイント共通化サービスを目的とした「ルックメンバーシップ」を10月から導入し、実店舗とEコマース事業の連携を高め、また、当社が展開するフィンランドの生活雑貨ブランド「マリメッコ」の日本公式オンラインストアをオープンするなど事業拡大に向け取り組んだ結果、売上が増加いたしました。新規事業につきましては、新規設立した株式会社デンハム・ジャパンが展開する「デンハム」の新規出店を推し進めたことや、日本公式オンラインストアをオープンするなど、売上拡大に積極的に取り組んでまいりました。しかしながら、2015年

財務ハイライト

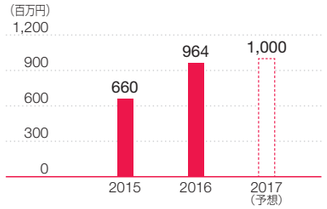
■連結売上高



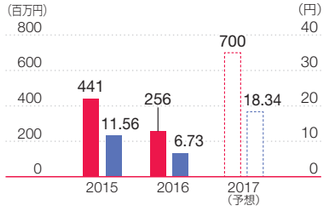
■連結営業利益



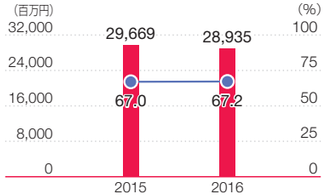
■連結経常利益



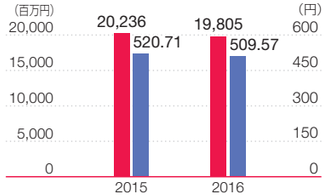
■連結親会社株主に帰属する当期純利益
■連結1株当たり当期純利益



■連結総資産
●連結自己資本比率



■連結純資産
■連結1株当たり純資産

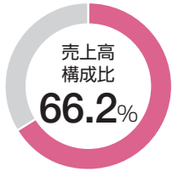


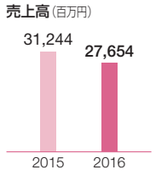
※当期純利益は2016年より親会社株主に帰属する当期純利益に変更になりました。

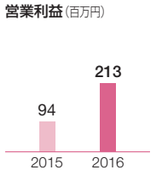
アパレル関連事業

日本

売上高 276億54百万円（前年同期比 11.5%減）
営業利益 2億13百万円（前年同期比126.1%増）

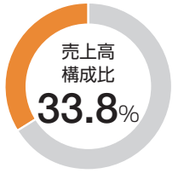


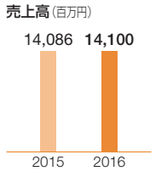


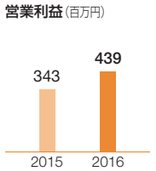


韓国およびその他海外

売上高 141億円（前年同期比 0.1%増）
営業利益 4億39百万円（前年同期比 27.9%増）







※売上高及び売上高構成比は、セグメント間の取引消去前の数値でございます。

7月末に「トリー バーチ」の独占販売契約が終了した影響により、「日本」の売上高は276億5千4百万円（前年同期比11.5%減）となりましたが、経費の削減や退職給付費用の減少などにより、営業利益は2億1千3百万円（前年同期比126.1%増）となりました。

「韓国」につきましては、消費動向の長引く低迷に加え、政治的な不確実性の高まりから不安心理が拡大する厳しい経済環境の中、株式会社アイディールックにおいて、フランスのインポートブランド「サンドロ」や「ベルニス」などの売上が好調に推移いたしました。また、2016年9月よりフランスのインポートブランド「A.P.C.」の販売を開始し、売上拡大策を推し進めました。株式会社アイディージョイにおいては、前期および当期の新規出店による売上拡大により、売上高が前年同期を大きく上回りました。しかしながら、為替レートが円高ウォン安になったことにより、「韓国」の売上高は138億6千4百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は4億7千2百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

「その他海外」（香港・中国）につきましては、ルック（H.K.）Ltd.（香港）において、前年同期と比べ店舗数が増加したことにより、増収増益となりました。洛格（上海）商貿有限公司においては、店舗をすべて閉鎖しEコマース事業に集中した結果、売上高は減少いたしましたが、営業損失は縮小いたしました。これらにより、「その他海外」の売上高は2億3千5百万円（前年同期比35.5%減）、営業損失は3千2百万円（前年同期は1億1千3百万円の営業損失）となりました。

これらの結果、アパレル関連事業の売上高は417億5千4百万円（前年同期比7.9%減）、営業利益は6億5千3百万円（前年同期比49.1%増）となりました。

「生産及びOEM事業」

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、当社アパレル製品の生産高が減少したことにより、売上高は前年同期より減少いたしましたが、製造費用の圧縮など効率経営に努めた結果、営業利益が前年同期より増加いたしました。その結果、売上高は35億8千3百万円（前年同期比8.1%減）、営業利益は7千万円（前年同期比37.7%増）となりました。

「物流事業」

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、当社グループの取扱高が減少した結果、売上高は12億1千6百万円（前年同期比5.3%減）となりました。一方、大阪支店の移転に伴う物流拠点の統合効果により、営業利益は5千9百万円（前年同期は8百万円の営業利益）となりました。

「飲食事業」

「飲食事業」につきましては、株式会社ファッショナブルフーズ・インターナショナルが展開する「ジェラテリア マルゲラ」において、既存店の売上が前年同期を上回ったことに加え、2015年7月にオープンいたしました「なんばパークス店」の売上が年間を通して寄与した結果、売上が増加し、営業損失は縮小いたしました。その結果、売上高は1億4千5百万円（前年同期比17.4%増）、営業損失は3千1百万円（前年同期は5千6百万円の営業損失）となりました。

次期の見通し

2017年度のわが国経済の見通しにつきましては、政府や日銀の各種政策の効果もあり、緩やかに回復していくことが期待されるものの、個人消費の節約志向が長期化していることや、海外経済の不確実性の高まりなど、依然として不透明な状況が続くものと予想されます。

こうした状況の中、当社グループは、中期経営計画で掲げる重点政策を引き続き推し進めてまいります。日本における既存事業につきましては、当社が展開する「マリメッコ」や「レペット」などの出店政策の推進などブランド価値向上に注力し、引き続き安定的な収益基盤の確立に努めてまいります。Eコマース事業につきましては、昨年導入いたしました「ルックメンバーシップ」の更なる充実を図り、売上構成比10%の早期実現に向け取り組んでまいります。新規事業につきましては、百貨店を主販路とした、大人の女性に向けたオリジナル新ブランド「フィラージュ」の販売を春より開始するとともに、昨年設立した株式会社デンハム・ジャパンが展開する「デンハム」の新規出店政策を引き続き推し進め、売上の拡大、収益向上に積極的に取り組んでまいります。海外につきましては、韓国の株式会社アイディールックにおいて、好調を維持しているインポートブランドの出店政策を推し進め、売上の拡大に取り組んでまいります。洛格（上海）商貿有限公司においては、Eコマース事業の拡大に注力し収益の改善に努めてまいります。

これら施策を実行し、2017年12月期の連結業績につきましては、連結売上高435億円（前年同期比2.1%増）、連結営業利益9億円（前年同期比8.8%増）、連結経常利益10億円（前年同期比3.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益7億円（前年同期比172.4%増）を見込んでおります。

業績予想（連結）

売上高	435億円（前年同期比 2.1%増）
営業利益	9億円（前年同期比 8.8%増）
経常利益	10億円（前年同期比 3.7%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	7億円（前年同期比172.4%増）

次期の配当について

当社は株主の皆様への利益還元を経営の最重要政策のひとつであると認識し、財務体質の強化、積極的な事業展開に備える内部留保の充実を図りつつ、収益状況を勘案しながら利益配分を実施することを基本方針としております。

2017年度12月期の配当（予想）につきましては、上記の基本方針に沿って1株当たり5円を予定しております。

持株会社体制への移行について

当社は更なる成長のため、より一層の経営に係る意思決定の迅速化を図り、機動的かつ柔軟な経営判断を可能にするグループ運営体制を構築することを目指し、2018年1月1日（予定）をもって持株会社体制へ移行いたします。今後は、グループ経営の一層の効率性の向上に向けた対応を実施していく所存です。また、各事業会社の経営を有為な人材に担わせることにより、次世代の経営人材を育成するとともに、グループの企業価値をさらに向上させるため、新たな成長分野に対して積極的にグループの経営資源の配分を行ってまいります。

- 当社は、2018年1月1日をもって「株式会社ルックホールディングス」に商号変更をしたうえで、上場を維持する予定です。
- 持株会社体制への移行に伴う連結業績に与える影響は軽微であります。

積極的な新規事業開発

DENHAM

ルックは、オランダのデニムブランド
『DENHAM(デンハム)』
を展開するDENHAM GROUP B.V.と
2016年3月に合併会社を設立し、
4月1日より日本における
『DENHAM』の独占輸入販売及び
ライセンス生産・販売を開始しました。

ブランド名
DENHAM(デンハム)

ブランド概要
2008年にアムステルダムで誕生したデンハムは、国際的にも名高いデニム職人ジェイソン・デンハムによって設立されました。
「ディテールの中に見いだされる真実」「伝統を重んじ、しきたりを壊す」をコンセプトに掲げたプレミアムデニムがブランドの中心となります。
トップスとボトムスの両カテゴリーに渡り、メンズ・レディースのフルカテゴリーのモダンスタイルを展開しています。

filage

2017年3月に、仕事やプライベート、
ファッションにおいて、さまざまな経験をかさねながら
美しく魅力をましていく女性をターゲットとした
ナショナルブランド「filage」を立ち上げました。

ブランド名
filage(フィラージュ)

ブランド概要
世界中のファッションブランドが集まる日本。しかし日本人の体型にフィットするブランドは決して多くはありません。世界の様々なトレンドを熟知した日本人により生みだされる新しいテイストと、女性を自然に美しくみせる計算された最良のシルエット。これらを融合した新しいカタチ。これこそが現代の日本女性が求めているブランドではないだろうか。そんな発想から「filage」は誕生しました。

既存事業の収益向上とEコマース事業の拡大

安定的な収益基盤の確立に向け、新規出店策を推進

IL BISONTE
「イル ビゾンテ」

2016年3月に高松店と大名古屋店を
新たにオープンしました。

高松店

大名古屋店

日本橋
高島屋店

Alice and Olivia
「アリス アンド オリビア」

2016年2月に
日本橋高島屋店を
新たにオープンしました。

松屋
銀座店

大名古屋店

柏店

marimekko
「マリメッコ」

2016年2月に柏店、3月には大名古屋店、
4月には松屋銀座店を新たにオープンしました。

A.P.C.
「アー・ペー・セー」

2016年7月に
名古屋高島屋店を
新たにオープンしました。

名古屋
高島屋店

海外展開

韓国における
売上拡大策の推進

株式会社アイディールックにおいて、「サンドロ」や「ベルニス」などの売上が好調に推移、また、「A.P.C.」の販売を開始し、売上拡大策を推し進めました。

A.P.C.
「アー・ペー・セー」

Berenice
「ベルニス」

Eコマース

Eコマース売上構成比10%の早期実現に向けた施策

LOOK MEMBERSHIP スタート

2016年10月より、ルックグループ『対象ショップ』や『対象オンラインストア』でお買い物をすると、商品代金(税抜)と会員ステージに応じてポイントが貯まる、ポイント共通化のサービスを開始いたしました。

マリメッコ日本公式 オンラインストアオープン

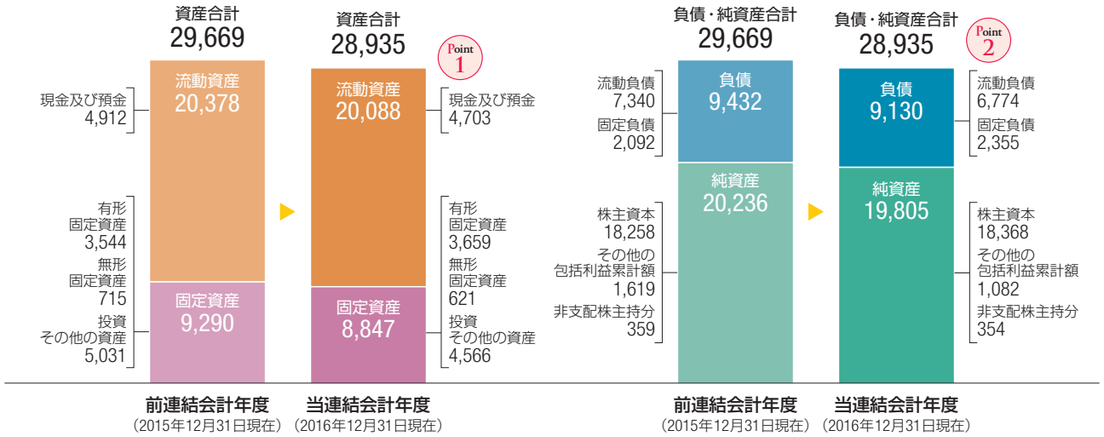
http://www.marimekko.jp

DENHAM日本公式 オンラインストアオープン

http://www.denhamjapan.jp

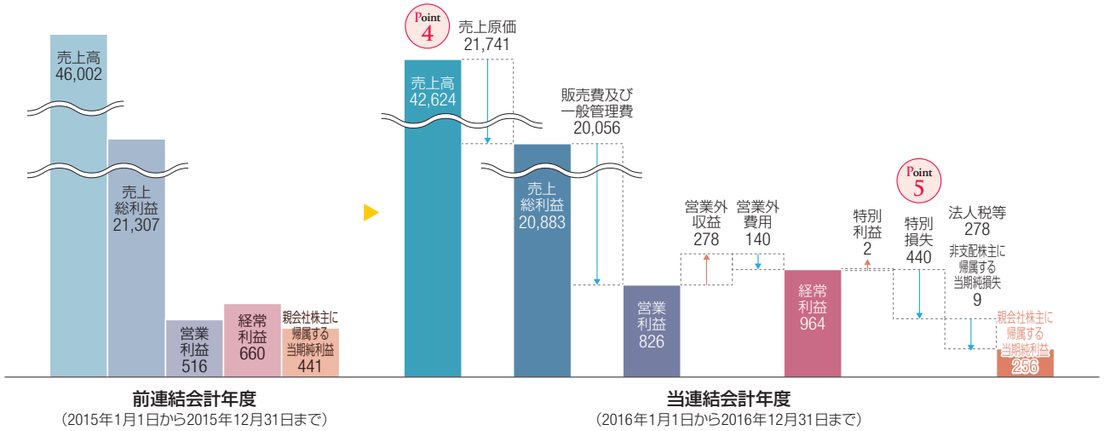
連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)



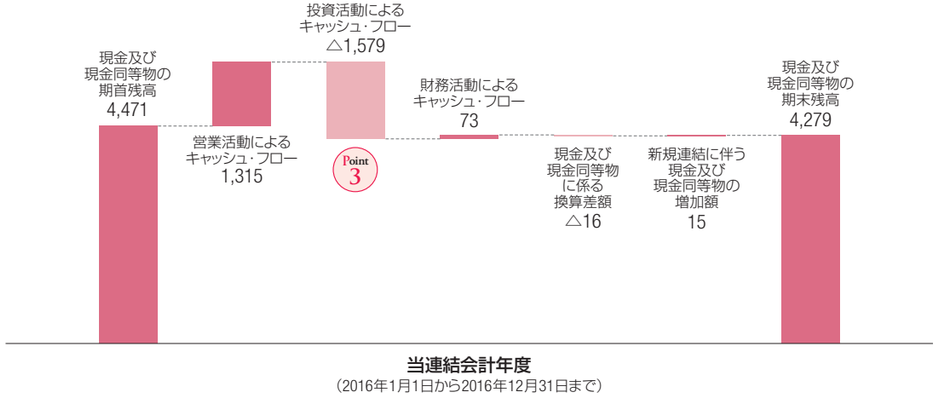
連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)



Point 1　流動資産および固定資産

新規事業譲受による支出により「現金及び預金」が減少したことや上場株式の時価の変動により「投資有価証券」が減少したことなどにより、流動資産および固定資産が減少しました。

Point 2　負債

仕入の減少により「支払手形及び買掛金」が減少したことなどにより、負債が減少しました。

Point 3　投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得や新規事業譲受による支出などにより、投資活動によるキャッシュ・フローは支出となりました。

Point 4　売上高

新規事業を開始しましたが、事業譲渡の影響やブランドの改廃などにより売上高は減少いたしました。

Point 5　特別損失

経営の効率化を目的とした、大阪支店の移転に伴う「減損損失」などを特別損失に計上しました。

会社の概要

商号	株式会社ルック
設立	1962年10月29日（登記上は1944年3月20日）
資本金	63億4,093万円
主要な事業内容	婦人服等の企画、販売
従業員数	1,726名（連結）（2016年12月31日現在）
主要取引銀行	三井住友銀行　三菱東京UFJ銀行
本店	〒153-8638 東京都目黒区中目黒2丁目7番7号 tel：03-3794-9100
支店	〒550-0002 大阪市西区江戸堀2丁目1番1号 江戸堀センタービル16階 tel：06-6225-2124
連結子会社	**A.P.C. Japan株式会社** 東京都目黒区中目黒2丁目7番7号 tel：03-6864-2603 **株式会社レッセ・パッセ** 東京都渋谷区元代々木町4番5号 クレアトゥール tel：03-5790-7201 **株式会社ヴェラ・ブラッドリー・スタイル** 東京都目黒区中目黒2丁目7番7号 tel：03-3794-9322 **株式会社デンハム・ジャパン** 東京都目黒区青葉台1丁目15番1号　AK-1ビル3階 tel：03-3496-1086 **株式会社ルックモード** 東京都目黒区中目黒2丁目7番7号 tel：03-3794-9300 **株式会社エル・ロジスティクス** 千葉県習志野市茜浜2丁目3番1号 tel：047-455-2111 **株式会社ファッショナブルフーズ・インターナショナル** 東京都港区麻布十番2丁目5番1号 tel：03-5772-3283 **株式会社アイディールック（韓国ソウル市）** 580,Gangnam-Daero,Gang Nam-gu,Seoul,Korea tel：82-2-3438-9125 **株式会社アイディージョイ（韓国ソウル市）** 14,Hakdong-ro,5-gil,Gang Nam-gu,Seoul,Korea tel：82-70-7729-6008 **ルック（H.K.）Ltd.（香港九龍）** Rm2211-2212 Metro Centre II 21 Lam Hing Street, Kowloon Bay, Kowloon, Hong Kong tel：852-2751-8773 **洛格（上海）商貿有限公司（中国）** 上海市長寧区古羊路158号1号楼4C tel：86-21-5039-1533

役員構成

2017年3月30日現在

代表取締役会長	牧　武彦
代表取締役社長	多田　和洋
専務取締役	城所　幸男
常務取締役	髙山　英二
取締役	斉藤　正明
取締役	福地　和彦
取締役	遠藤　洋一
常勤監査役	永瀬　雅俊
監査役	杉田　徹
監査役	服部　秀一

（注）1. 取締役 福地和彦および遠藤洋一の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 杉田徹および服部秀一の両氏は、社外監査役であります。
3. すべての社外取締役および社外監査役を（株）東京証券取引所の定める独立役員として指定しています。

株式情報

2016年12月31日現在

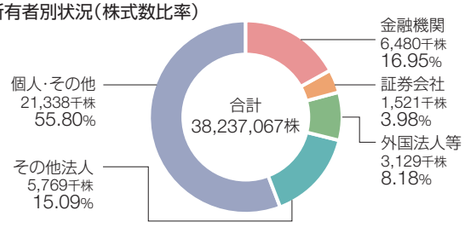
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	38,237,067株
株主数	5,288名

大株主

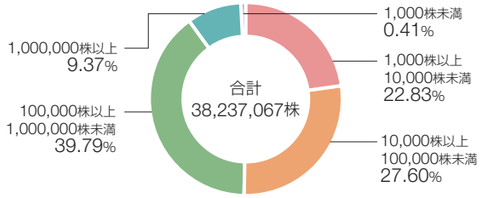
株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
八木通商株式会社	3,581	9.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	907	2.38
住友生命保険相互会社	771	2.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	696	1.82
株式会社三越伊勢丹	672	1.76
株式会社三井住友銀行	654	1.71
ルック役員持株会	607	1.59
ルック従業員持株会	521	1.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口1）	497	1.30
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	492	1.29

（注）持株比率は、自己株式（65,062株）を控除して計算しております。

所有者別状況（株式数比率）



所有株数別状況（株式数比率）



※自己株式65,062株は、「所有者別」は「個人・その他」に、「所有株数別」は「1万株以上」に含まれております。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会　毎年12月31日 期末配当金　毎年12月31日 中間配当金　毎年6月30日 そのほか必要があるときは、 あらかじめ公告して定めた日

［株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について］

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-782-031
（ホームページURL）	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

［特別口座について］

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

公告の方法	当社のホームページに掲載します。 http://www.look-inc.jp/ir/ ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

最新ブランドニュースなど多彩な情報が満載

ブランドインデックス、その他各種イベント・新作情報・ニュース、会社案内など最新情報をお届けしています。

http://www.look-inc.jp

IR情報

http://www.look-inc.jp/ir/

IR情報ではトップメッセージ、個人投資家情報、決算短信などの各種IR資料やプレスリリース、株価情報など最新情報を満載していますので、是非一度当社のIRページをご覧ください。

ルックがお届けする
ファッションブランド公式通販サイト

「ルックアットイーショップ」

LOOK@E-SHOP

お客様のライフスタイルに合わせ、
パソコンやスマートフォンなどから
いつでもショッピングをお楽しみいただけます。

▼QRコード

http://www.e-look.jp

▪ 株主優待制度のご案内 ▪

(1)対象となる株主様

毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元（1,000株）以上を保有されている株主様を対象といたします。

(2)株主優待の内容

当社オンラインショップ「LOOK@E-SHOP（ルック アット イーショップ）」（http://www.e-look.jp/）において、取扱商品を次のとおりご所有株数に応じて販売価格から割引でご購入いただけます。

保有株式数	優待内容
1,000株以上 2,000株未満	2,000円の株主優待割引券を贈呈
2,000株以上	4,000円の株主優待割引券を贈呈

▪IRカレンダー

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

- 2月 決算発表
- 3月 定時株主総会
- 5月 第1四半期決算発表
- 8月 第2四半期決算発表
- 11月 第3四半期決算発表

株式会社ルック 〒153-8638 東京都目黒区中目黒2丁目7番7号